

岐阜県みどりの祭り

みんないきいき 緑あふれる 豊かな里山づくり

私たちと里山

「開催の理念」

土岐市は、世界に誇る「志野」「織部」という茶陶の名産を生み出した芸術文化の高い街です。一方で、市の7割を占める丘陵地では陶土採掘や窯業用燃料として森林を伐採し、昭和初期には表土がむき出しの荒廃した山や濁った川が見られました。

その後、約50年間にわたる緑化活動が先人の手により続けられ、現在は緑豊かな里山が広がり、清らかな土岐川が流れています。

私たちは、これまで経験してきた森と人のかかわりから「森をつくる・森をまもる・森をつかう・森をたのしむ・森をまなぶ」ことを再認識し、私たちの生活環境に安心と安全、潤いと憩いをもたらしてくれる里山、川、人との新たな関係を発信するため、第40回岐阜県みどりの祭りを開催します。

そして、このみどりの祭りの成果を「第30回全国豊かな海づくり大会」や平成24年に開催される「ぎふ清流国体」に向けて、緑あふれる岐阜県づくりの取り組みへつなげていきます。

日 時 5月22日(土) 午前9時30分～午後3時 (受け付け=午前9時～)

▷代表植樹=午前9時30分～45分

▷式典=午前10時～45分

▷里山コンサート=午前11時20分～50分

会 場 メイン会場：陶史の森およびせせらぎ公園 (サブ会場：セラテクノ土岐)

※雨天時の式典会場は、駄知中学校体育館

駐 車 場 セラテクノ土岐、肥田中および駄知中グラウンド

※駐車場から会場までシャトルバスを運行します。

今大会の特徴

1. 里山にちなんだ式典と催事を行います
2. 子どもが主役の大会 (地元の小学生から高校生まで約500人が参加します)
3. 6月に関市で行われる「第30回全国豊かな海づくり大会」へつなげる行事です (『エコキャンドル』の作製)

内 容

●森林自然体験(会場：陶史の森)

森をつくる 代表植樹、学校植樹

森をまもる 間伐材利用ナメコ菌打ち、砂防のはなし、治山と森林のはなし

森をつかう 木工教室、ハチの巣口ウソクづくり、ミツバチ蜜しばり体験

森をたのしむ しおり作り、木と竹のクラフト教室、森をまなぶ、森林ウォーキング、ギフトウの一生、生きた森林づくり展 など

●交流(会場：せせらぎ公園)

▷野だてによる里山お茶会(志野、織部などの茶わんで一服) ▷地産地消の農産物即売 ▷市の特産品販売

●陶史の森まつり(併催行事)

毎年秋に開催される「陶史の森まつり」を併催行事として開催します。

詳しくは、農林課(内線244～246)へどうぞ。

シンボルマーク・キャラクターは「あすはちゃん」

1本の苗木を持ってかかげる姿は、森を育て、守り、その森の恵みを未来へつなげる使命を表しています。緑の木、ボディの紺色は、岐阜県の豊かな自然と清らかな川の水をイメージし、「あすはちゃん」の名称には、今日の植樹が明日豊かに芽吹くようにという思いが込められています。

「あすはちゃん」は、平成18年5月に下呂市で開催された第57回全国植樹祭のシンボルマークで、岐阜県の森林づくり運動のシンボルマークおよびキャラクターとして引き継がれ、本大会のPRでも活躍します。

また、第30回全国豊かな海づくり大会キャラクター「ヤマリン」と、ぎふ清流国体のキャラクター「ミナモ」とともに本大会を盛り上げます。



▲ヤマリン

▲ミナモ

メイン会場と駐車場のご案内



サブ会場
(セラテクノ土岐)

一般駐車場
(肥田中グラウンド)

催事会場
(せせらぎ公園)

一般駐車場
(セラテクノ土岐・駄知中グラウンド)

関係者駐車場・シャトルバス発着場
(せせらぎ公園大駐車場)

式典会場・代表植樹
(第2駐車場)

陶史の森とせせらぎ公園

「陶史の森」は、県と市が、市の中央丘陵地帯の森林を活用して整備した「生活環境保全林」で、昭和50年にオープンしました。

自然と人間との触れ合いの必要性が叫ばれる今日、自然と親しみながら明日への生活の活力を養う憩いの広場として、また、自然や昆虫の観察・小動物との触れ合いを通じた自然教育の場として、多くの皆さんに利用されています。

「せせらぎ公園」は、陶史の森につながる、みんなが安心して水辺に近づくよう整備された、親水・景観に配慮された公園です。

催事会場
(第1駐車場)

本部
(河川広場)

学校植樹・催事会場
(ちびっこ広場)

催事会場
(芝生広場・ネイチャーセンター)